

# 学校評価

宮城県鹿島台商業高等学校 発行  
〒989-4104  
宮城県大崎市鹿島台広長字空師前4-4  
TEL 0229(56)2664 FAX 0229(56)2461  
URL <http://kasimadai-ch@mvswan.ne.jp>

平成26年12月、全校生徒、保護者及び教職員を対象に「学校評価アンケート」を実施しました。結果がまとまりましたので、報告いたします。

## 生徒による評価

■ そう思う ■ だいたいそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない

学ぶ意欲を引き出し、学力を身につけられるような授業が行われている。	12.3%	52.9%	27.5%	7.2%
挨拶やマナーなどの基本的な生活習慣の確立に関する指導が行われている。	28.7%	53.8%	13.1%	4.4%
進路目標の明確化に向けた適切な指導が行われている。	29.8%	53.1%	13.8%	3.3%
教員やカウンセラーが必要な時に相談に応じてくれる体制ができています。	15.6%	55.3%	22.9%	6.2%
部活動は活発である。	11.6%	34.1%	34.8%	19.6%
生徒会活動は活発である。	12.0%	48.2%	30.1%	9.8%
自分にとって有意義な学校行事がある。	13.1%	46.9%	28.7%	11.3%
学校は地域や伝統に根ざした特色ある学校づくりに取り組んでいる。	11.6%	44.4%	33.8%	10.2%
生徒や保護者に対して、災害・非常時の避難方法や連絡方法は伝えられている。	27.0%	53.3%	16.1%	3.6%
生徒や保護者に対して、学校便りなどによって、学校の情報は適切に伝えられている。	24.7%	57.5%	14.5%	3.3%
校舎やグラウンドなどの施設や設備は整備されている。	14.5%	47.3%	27.6%	10.5%
学校は日頃からいじめの早期発見に取り組んでいる。	10.6%	41.2%	31.0%	17.2%
自分にとって、学校生活は充実している。	18.1%	43.9%	20.7%	17.3%
資格取得に向けた指導が充実している。	28.9%	54.9%	12.8%	3.3%
学習成績の評価について、きまりがよく知らされている。	20.8%	58.8%	16.8%	3.6%
進路に関する情報が適切に伝えられている。	24.2%	55.3%	17.2%	3.3%
生徒の考えは尊重されている。	8.8%	44.7%	30.8%	15.8%
先生は、学習した内容が分かるまで教えてくれる。	15.4%	48.0%	30.0%	6.6%
校訓を知っている。	17.5%	35.8%	25.5%	21.2%
自分のクラスは良い雰囲気在学习中。	25.8%	44.9%	19.5%	9.7%
自分は学校行事への生徒の取り組みは積極的である。	20.2%	47.6%	19.9%	12.4%

・回収状況 12月現在で在籍296名に対し276名で93.2%の回収率であった（前年度96.1%）

・分析【肯定的評価が高いもの、伸びたもの】

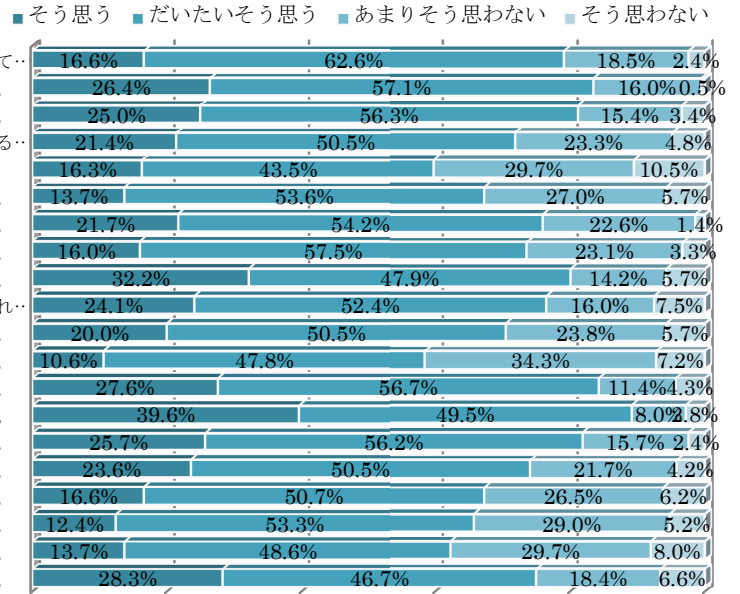
- 1 進路目標の明確化に向けた適切な指導が行われている。
- 2 進路に関する情報が適切に伝えられている。  
進路指導に関しての日ごろからのきめ細かい取り組みが評価されている。特に学年が上がるにつれて、より具体的な指導が行われていると実感していると思われる。
- 2 資格取得に向けた指導が充実している。  
通常の指導体制だけではなく検定補講期間を設けていることなどについて肯定的にとらえていると思われる。
- 3 挨拶やマナーなどの基本的な生活習慣の確立に関する指導が行われている。  
通常の指導体制について、おおむね肯定的にとらえられている。
- 4 生徒や保護者に対して、学校便りなどによって、学校の情報は適切に伝えられている。  
学級通信や鹿商高通信、保健だより、図書館だよりなど生徒・保護者に対しての情報発信については、肯定的にとらえられていると思われる。
- 5 生徒に対して、災害・非常時の避難方法や連絡方法は伝えられている。  
災害・非常時に備える体制については、年2回の防災・火災訓練などをとおして、非常時に対する心構えが概ね定着してきていると思われる。

【肯定的評価が特に低く、または前年度比で特にマイナスのもの】

- 1 部活動は活発である。  
昨年度に引き続き、前年比マイナスとなった。個別の活動自体は充実した感もあるが、部活動の活性化の意味でも、活動内容や日数、人数など各部活毎の問題点について詳細な分析が急務である。
- 2 先生は、いじめなど生徒間の問題に気を配っている。  
肯定的回答が51.8%で肯定的回答が、昨年度より増加したが、生徒の半数しか肯定的でない。今年度からいじめに関するアンケート調査を年数回実施することになったが、今後も、生徒間の問題について気を配ることに必要があると思われる。
- 3 生徒の考えは尊重されている。  
今年度の肯定的評価は53.5%であり、前年比-1.5%減少した。昨年やや肯定が増加したが、今年度再度減少しているため今後の改善が望まれる。
- 4 先生は、学習した内容が分かるまで教えてくれる。  
学習指導に関しては、前年比で減少率が高い項目である。肯定的回答は6割を超えているが、毎年下がり続けてきているため、生徒から指導方法の工夫改善が求められているものと思われる。
- 5 学ぶ意欲を引き出し、学力を身につけられるような授業が行われている。  
学習指導に関しては、前年比で減少率が高い項目である。肯定的回答は6割を超えているが、毎年下がり続けてきているため、生徒から指導方法の工夫改善が求められているものと思われる。

**保護者による評価**

お子さんの学ぶ意欲を引き出し、学力を身につけられるような授業が行われて…  
 挨拶やマナーなどの基本的な生活習慣の確立に関する指導が行われている。  
 お子さんの進路目標の明確化に向けた適切な指導が行われている。  
 生徒や保護者に対して、教員やカウンセラーが必要な時に相談に応じてくれる…  
 部活動は活発である。  
 生徒会活動は活発である。  
 お子さんにとって、有意義な学校行事がある。  
 学校は、地域や伝統に根ざした特色ある学校づくりに取り組んでいる。  
 生徒や保護者に対して、災害・非常時の避難方法や連絡方法は伝えられている。  
 生徒や保護者に対して、学校便りなどによって、学校の情報は適切に伝えられ…  
 校舎やグラウンドなどの施設や設備は整備されている。  
 学校はいじめの早期発見に取り組んでいる。  
 お子さんの学校生活は充実している。  
 資格取得に向けた指導が充実している。  
 学習成績の評価に関する規程等が保護者に周知されている。  
 進路に関する情報が適切に伝えられている。  
 学校への意見や要望などを聞く機会を設けている。  
 先生は、分かりやすい授業にするために工夫している。  
 P T A活動は活発である。  
 学校生活の様子を子どもと話題にすることがある。



・回収状況 12月現在で在籍296名に対し212名 71.6%の回収率であった（前年度74.5%）

・分析【肯定的評価が80%以上のもの及び前年比より上昇したもの】

1 お子さんの学校生活は充実している。

肯定的評価は84.3%であり、昨年比で6.1%上昇した。子どもの様子や学校だよりなどから学校生活が充実していると感じていると考えられる。

2 挨拶やマナーなどの基本的な生活習慣の確立に関する指導が行われている。

肯定的評価は83.5%であり、昨年比で2.6%上昇した。基本的な生活習慣の確率に向けた指導については一定の評価を得ていると考えられる。

3 学習成績の評価に関する規程等が保護者に周知されている。

肯定的評価が81.9%であり、昨年比で6.9%上昇した。成績発表時等で担任からのきめ細かな指導が浸透してきていると考えられる。

4 資格取得に向けた指導が充実している。

肯定的評価が89.1%であり、昨年比では減少しているものの、検定補講期間の設定など資格取得に向けた体制が整っていることについては好評価を得ている。

5 生徒や保護者に対して、災害・非常時の避難方法や連絡方法は伝えられている。

肯定的評価は80.1%であり、毎年8割を超えているが、学年が進むと肯定的評価が上昇する傾向にあるので、早い段階での浸透について工夫をする必要がある。

6 お子さんにとって、有意義な学校行事がある。

肯定的評価は80.7%であり、昨年比で-2.8%減少したものの、鹿商祭での生徒と職員が一体となった取組などについては好評価を得ている。

【肯定的評価が特に低いもの、前年度比でマイナスのもの】

1 部活動は活発である。

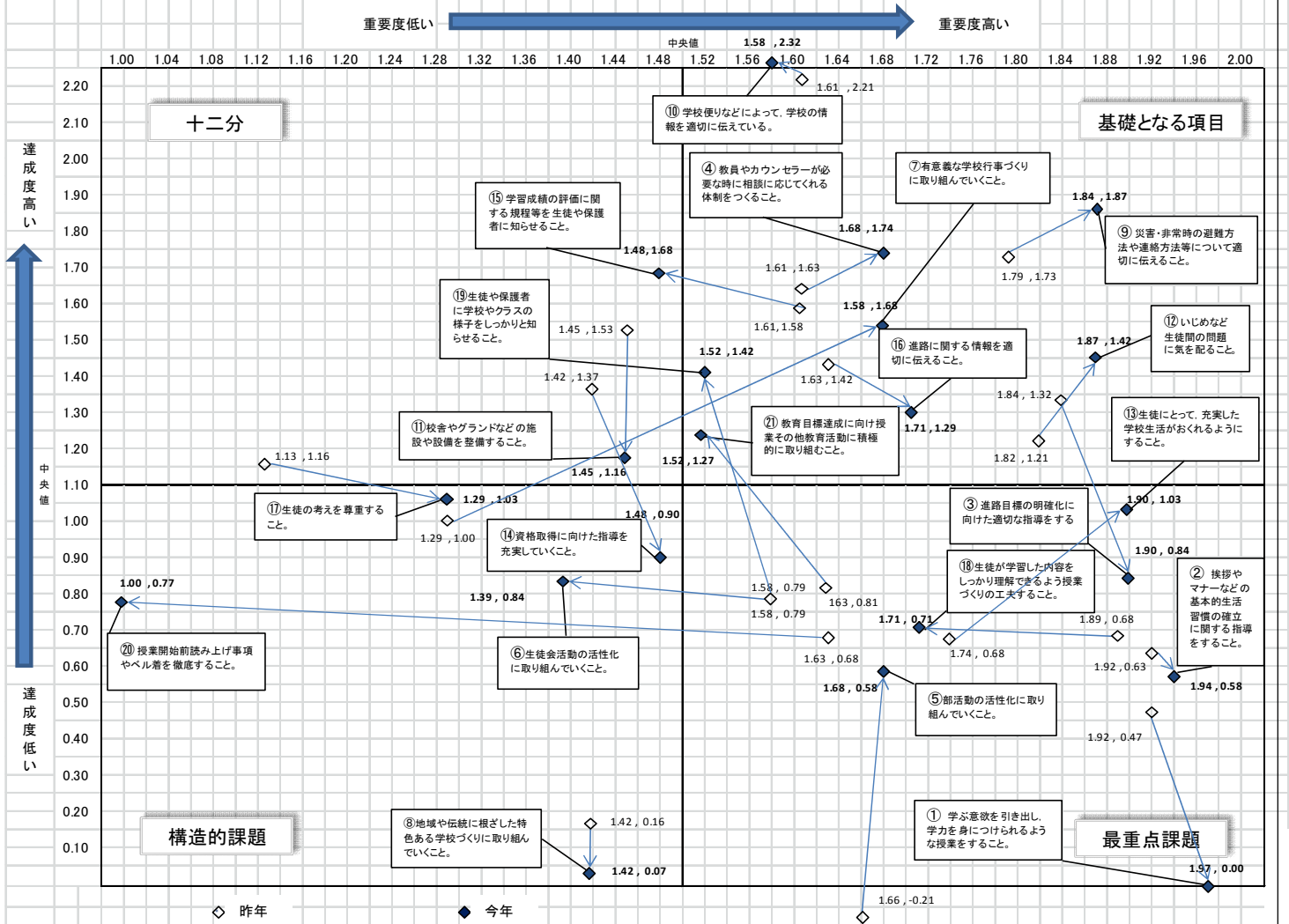
今年度の肯定的評価は59.8%であり、前年度大幅に落ち込んだため、今年度は増加したものの、全体の中で最も肯定的評価が低い。学年別では1学年は高いが、2・3年生は低いため、次年度以降の上昇に期待したい。

2 先生は、分かりやすい授業にするために工夫している。

今年度の肯定的評価は65.7%であり、2年連続で減少となった。生徒の評価や教職員の達成度が低いこととも合わせ、授業改善に取り組まなければならないのではないかと考える。

## 教職員による評価

生徒・保護者と同じ項目を設定し重要度と達成度を分析する形でアンケートを行った。重要度は「重要である」「やや重要である」「あまり重要でない」「重要でない」の4つ、達成度は「よく出来ている」「大体出来ている」「あまり出来ていない」「出来ていない」「わからない」の5つで評価し、数値化して、それぞれの項目について重要度と達成度の交わる点を取って示してある。昨年度からの変化をつかむため、今年度は昨年度の点から今年度の点にどのように変化したかを矢印で示すことにより、今年度の傾向を把握することにした。



・回収状況 100%

・分析【特に「最重点課題」の領域について】

- 1 学ぶ意欲を引き出し、学力を身につけられるような授業をすること
- 2 挨拶やマナーなどの基本的な生活習慣の確立に関する指導をすること
- 5 部活動の活性化に取り組んでいくこと
- 18 生徒が学習した内容をしっかり理解できるよう授業づくりの工夫をすること

それぞれ、昨年度に引き続き、重要度が高いが達成度が低いものとして最重要課題であるとの共通認識があると言える。

3 進路目標の明確化に向けた適切な指導をすること

重要度は高いと感じているが、達成度が低くなっており、最重点課題となった。